

○フレーベル紀念會

四月二十一日はフレーベルの誕生の紀念日に當ります。當日午後三時から、東京女子高等師範學校附屬幼稚園で其の紀念會を開きました。來會の諸君堂に溢れ頗る盛會でありました。折り柄諒閣中のことにもあり、別に特別の趣向も致しませんでしたか、特に東京高等師範教授乙竹岩造氏に請ふて、フレーベルの教育意見と現代の教育思想との關係に就て最も有益なるお話を願ひ、靜かに充分にフレーベルを紀念することが出来ました。乙竹教授の講演は本號に掲げてあります通り、フレーベルの教授意見を分析解釋して其の中から幾多の永久に新しい教育上の眞理を闡明せられ極めて興味深いものでありました。近來、曰く誰、曰く何主義と、所謂新說新思想は、日を趁ふて吾々の研究を促し進めて參ります。しかし、フレーベルの如き教育上の大天才は、其の思想の根底に於て、いつまで經ても、所謂舊くなつて仕舞はない多くの眞理を有するものであります。否寧ろ或る意味では、新しい立場から研究すればする程、其の古い說の中に更に深い眞理を發見し得るものであります。吾々は曰く誰、曰く何主義の新しい研究を廣くすることを怠らないと共に、我フレーベルの研究を更に更に深くしてゆき度いと思ひます。

○上野陽 一氏著 『心學要領』

本讀者諸君から、教育の參考として讀むべき心理學書に就て御問合はせを受けることが屢々ありますが、先般上野文學士によつて著されました『心學要領』は、そういふ方に最も適當なものと思ひます。書名の示す通り、要領を與へたもので詳細なる大著ではありませんが、その簡單にして要を得て居る處が殊に平常餘り心理學などを讀まれたことのない方々に至極くよいのであります。本誌上にも一般心理學の問題に就き時々掲載し度いのですが餘白がないので出来ません。熱心なる諸君は是非此の書を基として研究せられんことをお勧めします。(東京銀座大日本圖書株式會社發行 定價五拾參錢)

○『子供の友』

婦人の友社から其の永い計畫の結果 愈々前月から『子供の友』と題する兒童用の雜誌が發刊せられました。主として幼稚園から小學校の幼年級にかけての子供の爲のものであります。一體此の年齢の子供のための雜誌編輯の如何に六か月のものであるといふことは、少しく教育的の立場を以て考へるものも、皆感ずるところであります。其の材料の撰擇、繪のかき方其他一寸した小さい點にまで、成人用の雜誌に比して何十倍か編輯上の苦心を要するのであります。餘りかた苦しくはいけない。しかし亦おどけ過ぎて下品になつては尙困る。面白くなくてはいけない。しかし亦、面白ければかりでも足りない。之等の點に就て此の『子供の友』は中々細かく意が用ゐてあります。保姆諸君のために、いゝ保育の資料となると共に、また研究の資料にもなると思ひます。(東京雜司ヶ谷婦人の友社毎月一回一日發行、定價金拾錢郵税一錢)